
食肉科研/行政情報等発信サービス

No.278 2021/8/26

1 令和2年度食料自給率・食料自給力指標について

8月25日、農林水産省大臣官房政策課食料安全保障室は標記食料自給率等を公表した。その主な内容は次のとおり。

食料自給率とは、国内の食料供給に対する食料の国内生産の割合を示す指標です。我が国の食料の国内生産及び消費の動向を把握するため、毎年公表しています。

カロリーベースの食料自給率については、原料の多くを輸入している砂糖、でん粉、油脂類等の消費が減少したものの、米の需要が長期的に減少していること、小麦が特に作柄が良かった前年に比べて単収が減少したことにより、前年度より1ポイント低い37%となりました。

また、畜産物の生産が増加したことにより、品目別自給率（重量ベース（飼料自給率を反映しない））は、牛肉が35%から36%に、豚肉が49%から50%に、鶏肉が64%から66%に、牛乳・乳製品が59%から61%にそれぞれ上昇し、カロリーベース食料国産率（飼料自給率を反映しない）は前年度と同じ46%となりました。なお、飼料自給率は前年度と同じ25%となりました。

生産額ベースの食料自給率については、豚肉、鶏肉、野菜、果実等の国内生産額が増加したこと、魚介類、牛肉、鶏肉、豚肉等の輸入額が減少したこと等により、前年度より1ポイント高い67%となりました（生産額ベース食料国産率（飼料自給率を反映しない）についても、前年度より1ポイント高い71%）。

食料自給率について主なものをみると次のとおり（%）。

米97、豆類8、野菜80、果実38、牛肉36（9）、豚肉50（6）、鶏肉66（8）、鶏卵97（12）、牛乳・乳製品61（26）、魚介類55。

注：畜産物の（ ）内数値は、飼料自給率を考慮した値である。

<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/anpo/210825.html>

食料需給表

<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/anpo/attach/pdf/210825-4.pdf>